

介護人材実態調査 【事業所票】 施設・通所系

※●●年●月●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本調査票の送付先（郵便・メール等の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

1. 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2. 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数	<input type="text"/>	人	左記のうち常勤職員	<input type="text"/>	人
			左記のうち非常勤職員	<input type="text"/>	人
外国人職員数	<input type="text"/>	人	派遣職員数	<input type="text"/>	人

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

（1つに○）

1. はい ⇒問2-3へ
2. いいえ ⇒問3へ

問2-3 ●年●月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（●年●月●日～●年●月●日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

	採用者数	離職者数
常勤職員	<input type="text"/>	<input type="text"/>
非常勤職員	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問3 事業所の介護職員の過不足の状況について、あてはまるものを選んで下さい。 (1つに○)

- | | | |
|--------------------------|----------|-------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 大いに不足 | →問4もお答えください |
| <input type="checkbox"/> | 2. 不足 | →問4もお答えください |
| <input type="checkbox"/> | 3. やや不足 | →問4もお答えください |
| <input type="checkbox"/> | 4. 適当 | →問5もお答えください |
| <input type="checkbox"/> | 5. 過剰 | →問5もお答えください |

(問3で「1. 大いに不足」「2. 不足」「3. やや不足」と回答した事業所のみお答えください。)

問4 介護職員が不足したり、確保しにくい要因は、どのようなことだと思いますか。 (いくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 介護業界が不人気 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 職員の高齢化 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 人材が定着しない |
| <input type="checkbox"/> | 4. 採用活動を行う経費がない |
| <input type="checkbox"/> | 5. 労働環境が厳しい |
| <input type="checkbox"/> | 6. 給与水準が低い |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他 (<input type="text"/> |

(問3で「4. 適当」「5. 過剰」と回答した事業所のみお答えください。)

問5 介護職員を確保できている要因は、どのようなことだと思いますか。 (いくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 働きやすい職場環境 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 適切な給与 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 柔軟・多様な勤務形態 |
| <input type="checkbox"/> | 4. 福利厚生の充実 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 定年後再雇用・継続雇用 |
| <input type="checkbox"/> | 6. 専門的な人材や経験者のみの募集 |
| <input type="checkbox"/> | 7. 外部委託（派遣等）の活用 |
| <input type="checkbox"/> | 8. 外国人介護職員の雇用 |
| <input type="checkbox"/> | 9. 介護助手や未経験者の活用 |
| <input type="checkbox"/> | 10. メンタルヘルス・ストレスケアの実施 |
| <input type="checkbox"/> | 11. ICT・介護ロボットの導入 |
| <input type="checkbox"/> | 12. その他 (<input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> | 13. 特にない |

(以降は全ての事業者様がお答えください)

問6 次の各職種は充足していると思いますか。 (それぞれプルダウンから選択)

回答 (それぞれプルダウンから選択)

1. 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
2. 訪問介護員 (ホームヘルパー)
3. 生活相談員
4. 看護職員
5. 機能訓練指導員
6. 社会福祉士
7. 介護福祉士
8. 介護職員 (資格あり)
9. 介護職員 (資格なし)
10. 事務職員
11. リハビリ専門職 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

問7 人材確保で問題になることはどのようなことですか。 (いくつでも)

	1. 募集しても応募がない
	2. 応募があっても、待遇等の条件があわない
	3. 募集に費用がかかる
	4. 派遣に頼らざるをえなくなる
	5. 採用しても定着しない
	6. 採用後の育成が難しい (研修やOJTなど)
	7. 他の事業所との人材獲得競争が激しい (他産業との競合も含む)
	8. その他 (<table border="1" data-bbox="453 1317 1291 1368" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> </table>)
	9. 特にない

問8 離職防止のための下記の施策について、効果の有無や実施状況をお答えください。
(それぞれプルダウンから選択)

- 1. 残業を少なくする、休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
- 2. 本人の希望に応じた勤務体制等の労働状況の改善に取り組んでいる
- 3. 賃金水準を向上させている
- 4. 能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している
- 5. 従業員の仕事内容と必要な能力等を明示している
- 6. キャリアに応じた給与体系を整備している
- 7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
- 8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
- 9. 能力開発を充実させている（事業所内研修実施、事業所外講習の受講支援）
- 10. 管理者・リーダー層の部下教育や能力向上に向けた教育研修に力を入れている
- 11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
- 12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策等）
- 13. 健康対策や健康管理に力を入れている
- 14. 職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング等）
- 15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
- 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れている
- 17. 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりに力を入れている
- 18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（同好会、親睦会等の実施含む）
- 19. 子育て支援を行っている（保育所の設置、保育費用支援等）
- 20. 寮（自社寮・借り上げ寮等）を整備している
- 21. 職場環境を整えている（休憩室、談話室の確保等）

回答(プルダウン)

問9 介護人材不足への対応として、スポットワーク（数時間単位で働く1回限りの単発人材、いわゆるスキマバイト）の活用について、あてはまるものを選んで下さい。 (○は1つ)

	1. 既に活用している
	2. いまは活用していないが、今後活用を検討したい
	3. 活用したいとは思わない

問10 今後、市が研修会を主催する場合、参加してみたい研修内容がありますか。 (いくつでも)

- | | | |
|--|--|--|
| | 1. 認知症ケア（BPSD対応、本人中心の支援）
(※) BPSD：認知症の方に見られる行動や気持ちの症状のこと（徘徊、不眠、怒り、不安、幻覚など） | |
| | 2. 業務継続計画（BCP）の見直し、ブラッシュアップ | |
| | 3. 感染症の予防と対応、日常の衛生管理 | |
| | 4. 褥瘡予防・スキンケア（栄養との関連を含む） | |
| | 5. 口腔・嚥下ケア（誤嚥性肺炎予防、食事形態の工夫） | |
| | 6. 転倒・事故予防、移乗介助と福祉用具の正しい使い方 | |
| | 7. 排泄ケア（失禁対策、トイレ環境の工夫） | |
| | 8. 身体拘束ゼロへの取り組み・虐待防止 | |
| | 9. 薬剤管理とポリファーマシー対策（医療機関との連携）
(※) ポリファーマシー：多くの薬を服用することで、副作用などの有害事象が起こる状態のこと | |
| | 10. 多職種連携・地域包括ケアの実践（主治医・歯科・栄養・リハ） | |
| | 11. リハビリテーション／ICF視点のケアプランの策定（自立支援）
(※) ICF：心や体の状態、活動や社会参加など様々な機能・要因等を考える国際基準のこと | |
| | 12. LIFE（科学的介護情報システム）の導入と活用 | |
| | 13. 介護DX・ICT・介護ロボットの活用 | |
| | 14. 介護保険制度の最新動向・報酬改定への実務対応（加算取得・算定のポイント） | |
| | 15. その他 （ <table border="1"><tr><td></td></tr></table> ） | |
| | | |
| | 16. 特にない | |

問11 貴事業所の経営状況は、3年前と比べていかがですか。 (1つに○)

- | | |
|--|-----------------------|
| | 1. 良くなった |
| | 2. 変わらない |
| | 3. 悪くなった →問12もお答えください |

(問11で「3. 悪くなった」と回答した事業所のみお答えください。)

問12 経営状況が悪くなった理由は何ですか。 (いくつでも)

- | | | |
|--|---|--|
| | 1. 利用者数・稼働率の減少（要介護高齢者の減少、サービス利用控え） | |
| | 2. 物価高による仕入・消耗品・食材費の増加 | |
| | 3. 光熱費・水道料金の高騰 | |
| | 4. 送迎・燃料費の増加（ガソリン代・車両維持費） | |
| | 5. 人材不足（採用難、離職率の上昇） | |
| | 6. 人件費の上昇（賃上げや処遇改善によるコスト増） | |
| | 7. 競合事業所の増加による価格・利用者獲得競争の激化 | |
| | 8. 設備の老朽化や改修・更新への投資負担 | |
| | 9. その他 （ <table border="1"><tr><td></td></tr></table> ） | |
| | | |

(以降は全ての事業者様がお答えください)

問13 DXの推進についてお伺いします。貴事業所で既に実施しているものを、全て選んでください。 (いくつでも)

	1. 各種記録の電子化（ペーパーレス化）
	2. 職員がタブレット等を携行し、記録等をその場で入力する
	3. PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
(※) PHR：個人の健康・医療情報（検査結果や服薬など）を本人が管理・活用する仕組みのこと	
	4. 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
	5. ケアマネジャー等、関係機関とのデータ共有
	6. WEB形式での担当者会議の開催
	7. 機器を活用した利用者の睡眠や健康管理
	8. 介護ロボットの導入
	9. AIを用いた介護計画づくり
	10. 音声の自動文字おこし
	11. その他 ()
	12. 特になし

問14 DXの推進について、貴事業所では今後どのような施策を進めたいですか。 (いくつでも)

	1. 各種記録の電子化（ペーパーレス化）
	2. 職員がタブレット等を携行し、記録等をその場で入力する
	3. PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
(※) PHR：個人の健康・医療情報（検査結果や服薬など）を本人が管理・活用する仕組みのこと	
	4. 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
	5. ケアマネジャー等、関係機関とのデータ共有
	6. WEB形式での担当者会議の開催
	7. 機器を活用した利用者の睡眠や健康管理
	8. 介護ロボットの導入
	9. AIを用いた介護計画づくり
	10. 音声の自動文字おこし
	11. 介護情報基盤の活用
(※) 「介護情報基盤ポータル」 URL： https://www.kaigo-kiban-portal.jp/	
	12. その他 ()
	13. 特になし

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

アンケートは続きます。

最後に、シート「調査票（Q5）」の設問（問●）にお進みください。